

<報道発表資料>

令和 8 年 9 月 16 日

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課

対話から学ぶ「学藝カフェ」 第 3 回・第 4 回イベントの開催

京都市では、京都大学や京都市立芸術大学と連携し、大学の貴重な書籍や研究資料等の知的資源に市民の皆様が気軽に触れ、学び交流できる場を創出する取組を行っています。

第 3 回は、市庁舎前広場「小さな芝生広場の実験」とのタイアップにより、京都大学教授の藤原辰史氏と京都市立芸術大学講師の谷川嘉浩氏によるトークイベントを開催します。

第 4 回は、京大学生協のカフェレストラン「カンフォーラ」を会場に、藤原辰史氏と文芸評論家の三宅香帆氏によるトークイベントを世界思想社と共催します。

今後も、喫茶店や区役所等、様々な人がつどう場所でワークショップ等を実施し、大学の研究に気軽に触れられる機会を設けることで、市民の皆様と研究者が楽しみながら学び合い、交ざり合う場の創出に取り組めます。

以降のイベントも、詳細が決まり次第、順次お知らせします。

【第 3 回イベント概要】

- 日 時 令和 8 年 1 0 月 7 日（水）午後 6 時 3 0 分～午後 8 時 3 0 分頃
- 会 場 [京都市市庁舎前広場](#)
（〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地）
- 出 演 藤原辰史氏（京都大学 人文科学研究所 教授）、
谷川嘉浩氏（京都市立芸術大学 美術学部 講師）
- 内 容 家着で始める哲学ー歩くこと、考えること、語ること
藤原辰史氏と谷川嘉浩氏をお招きし、互いの著書（『分解の哲学』『生類の思想』『スマホ時代の哲学』『人生のレールを外れる衝動のみつかけた』等）を紐解くことで、私たちの日常生活や身近な体験の中から哲学を始めます。
- 主 催 京都市（「学藝カフェ」事業）
- 参 加 費 無料
- 申 込 [申込フォーム](#)から（事前予約制※）
※晴天時は、事前予約をしていない方も参加可能です。
- 留意事項 ・雨天時は会場を変更し、京都市役所本庁舎地下 1 階オープンスペースにて実施します。

・会場の変更は、前日 17 時まで判断します。変更の場合に限り、申込時の連絡先（メールアドレス）へお知らせします。

【第 4 回イベント概要】

- 日 時 令和 8 年 1 1 月 2 日（月）午後 4 時 4 5 分～午後 6 時 1 5 分
- 会 場 京都大学生協カンフォーラ [MAP](#)
(〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 吉田キャンパス本部構内 正門前)
- 出 演 藤原辰史氏（京都大学 人文科学研究所 教授）、
三宅香帆氏（文芸評論家）
- 内 容 学ぶことは仕事になるのか？ 京大編
——『学ぶことが仕事——博士という生き方』刊行記念トークイベント
学ぶことを仕事にするとは、どういうことなのか。「学ぶこと」と「働くこと」は、どこでつながるのか。
歴史学者・藤原辰史氏と、京都大学大学院で学んだ三宅香帆氏。「研究することを仕事にするとは？」「大学で学ぶことにはどんな意味がある？」をめぐって語り合います。
- 参 加 費 2,500 円（書籍『学ぶことが仕事——博士という生き方』1冊+イベント限定メッセージペーパーつき）
※別途振込手数料が必要です
- 申 込 [申込フォーム](#)（先着順、定員 6 0 名、京大生協組合員の優先枠あり）
- 申込期間 10 月 21 日（水）正午から※
※京大生協組合員の先行受付後に実施します。
- 主 催 世界思想社
- 共 催 京都大学生協組合員、京都市（「学藝カフェ」事業）
- 詳 細 [ホームページ](#)から

<参考>

「小さな芝生広場の実験」について

人々が集い、偶発的な出会いや交流が起きるような場所を街中に増やしていくことを目指し、最も身近な公共空間である市役所前広場を公民連携でまちに開いていく社会実験として、令和 5 年度から開催している取組。

（参考：[これまでの歩み](#) | [京都市公式 note](#)）



藤原辰史（ふじはら・たつし）氏 プロフィール

1976 年生まれ。京都大学人文科学研究所教授。専門は農と食の現代史。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。博士（人間・環境学）。おもな著書に『[決定版] ナチスのキッチン』（共和国）、『給食の歴史』（岩波新書）、『分解の哲学』（青土社）、『食権力

の現代史』（人文書院）、『生類の思想』（かたばみ書房）など。これまで、第1回河合隼雄学芸賞、第25回日本学術振興会賞、第41回サントリー学芸賞、第9回井上靖記念文化賞、第25回小林秀雄賞などを受賞している。

谷川嘉浩（たにがわ・よしひろ）氏 プロフィール

1990年生まれ。京都市立芸術大学美術学部デザイン科講師。哲学者。著書に、『スマホ時代の哲学』（ディスカヴァー・トゥエンティワン）、『人生のルールを外れる衝動のみつけた』（ちくまプリマー新書）、『信仰と想像力の哲学』（勁草書房）など著書多数。

三宅香帆（みやけ・かほ）氏 プロフィール

1994年生まれ。京都市立芸術大学非常勤講師。文芸評論家。大学院在学中に『人生を狂わす名著50』（ライツ社）で文筆家としてデビュー。主な著書に『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』（集英社新書）、『娘が母を殺すには？』（PLANETS）、『考察する若者たち』（PHP新書）、『「夫婦」不在社会』（講談社）、『推したちとどう生きるか』（新潮新書）など。

<お問合せ先>

第3回イベント及び報道機関からのお問合せ先

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課（担当：水畑、久保田）

電話：075-222-3128

第4回イベントに関するお問合せ先

世界思想社 イベント係

メール：event@ss-kg.jp